

原発ゼロの会
大阪

発足2周年
記念の
つどい



2013
日時 10月20日日
10:00~16:00

場所 エルおおさか
大ホール 他

臨時
保育所
あり

●資料代 500円 学生・障がい者 無料

募
集

第1部 13:00~14:20
反原発フェスティバル
作文・詩の朗読/コーラス/1分間スピーチ

落語 桂 歌之助さん

第2部 14:30~16:00
連帯と記念講演
連帯のあいさつ・福島からのビデオレター
「なぜ原発ゼロなのか~社会的コストから考える~」
立命館大学教授 大島 堅一 先生

501
号室

10:00~12:00
自然エネルギー展示・説明会

3階
ロビー

12:00~16:00
原発ゼロ文化祭

2階
ロビー

12:00~
太陽光パネルの展示、書籍販売

原発ゼロの会・大阪

原発をなくし、自然エネルギーを推進する大阪連絡会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号

電話 (06)6949-8120 FAX (06)6949-8121

メール info@genpatsuzero-osaka.com

ホームページ http://genpatsuzero-osaka.com/

福島第1原発事故の真相解明もまだなのに原発の再稼働は許せません!

子どもたちの未来のために

なくそう原発! すすめよう自然エネルギー

自民党の細田幹事長代行は、7月22日夜のBSフジで「東電福島第1原発事故の不幸があるから(原発を)全部やめてしまう」という議論は、耐え難い苦痛を将来の日本国民に与える」と述べたと云います(『朝日』7/23)。今も15万人もの人が避難生活を強いられ、「汚染水漏れ」がいよいよ深刻で漁業は見通しゼロです。

事故の収束・真相解明もまだなのに、こんな発言は絶対許せません。放射性廃棄物は何十万年も管理し続けねばなりません。原発の推進・再稼働こそ「耐え難い苦痛を将来の日本国民に与える」ものです。「草の根」の原発なくそうの取り組みを総結集し、世論の力で原発の再稼働・海外輸出にストップをかけましょう。

原発ゼロの会・大阪

発足2周年 記念のつどい 10月20日(日) エルおおさか

501号室 10:00~12:00

自然エネルギー展示・説明会

- 太陽光、小水力、風力、バイオなど
- 自然エネルギーの実際を展示・説明します

3階ロビー 12:00~16:00

原発ゼロ文化祭

- 写真やパネル・手書きアピール・書道
- メッセージボード・ポスター・絵手紙 など

2階ロビー 12:00~

太陽光パネルの展示、書籍販売

- 太陽光パネルや自転車発電の展示
- 書籍販売

第1部 13:00~14:20

反原発フェスティバル

- オープニングコーラス——うたごえ協議会
- 1分間スピーチ
- 小・中・高校生代表による作文・詩の朗読
- 落語 桂 歌之助さん(桂米朝事務所)

大ホール

第2部 14:30~16:00 連帯と記念講演

- 連帯のあいさつ・メッセージ紹介
- 福島からのビデオレター
- 「なぜ原発ゼロなのか ~社会的コストから考える~」

——立命館大学教授 大島 堅一先生

おおしま・けんいち 1967年、福井県生まれ。立命館大学国際関係学部教授。経済学博士(一橋大学)。震災後、政府のエネルギー・環境会議コスト等検証委員会委員(2011~12年)、総合資源エネルギー調査会基本問題委員会委員(2011~12年)等をつとめる。著書に、『原発のコスト』(岩波書店、第12回大佛次郎論壇賞)、『原発はやっぱり割に合わない』(東洋経済新報社)、『原発事故の被害と補償』(共著、大月書店)など。専門は環境経済学、環境エネルギー政策論。



- 報告と訴え——原発ゼロの会

小学・中学・高校生のみなさん

作文・詩 募集!!

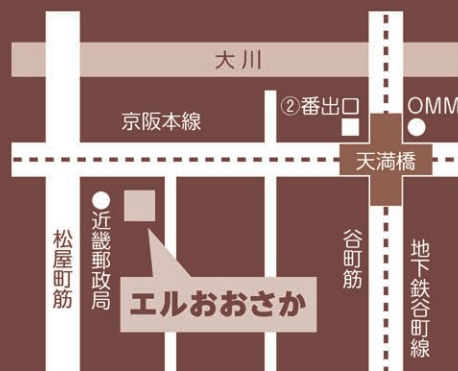
応募締切
2013 月
9/30
当日消印有効

原発や福島、これからのエネルギーなどをテーマにした作文や詩を募集します。代表者には「発足2周年 記念のつどい」第1部で朗読していただきます。

応募資格:小学生/中学生/高校生 文字数:400~600字

応募方法:お名前・ご住所・電話番号・学校名・作品のタイトルを明記のうえ、下記住所に原稿(原稿は返却出来ません)を郵送、または下記メール宛にテキストデータを送信してください

原発ゼロの会・大阪 作文係 〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号
FAX (06)6949-8121 メール info@genpatsuzero-osaka.com



地下鉄・京阪「天満橋」駅より西へ300m